要件定義書

―出席簿―

5CS29　中作眞仁

目次

[1. これまでの問題点 3](#_Toc134801501)

[2. ソフトウェアの概要（機能一覧） 3](#_Toc134801502)

[3. ソフトウェアの全体の機能構成（機能の説明、流れのフローチャート） 3](#_Toc134801503)

# これまでの問題点

顧客が抱える問題点を挙げると、以下のようなものがある。

・教員によるデータ入力ミス

・教員間でのデータずれ

・学生側の確認不足

・出席日数が少ない人の洗い出し困難

・集計が大変

これらの問題は、出席確認が複数の紙媒体で行われていることと、1ページあたりの情報量が多いことが原因であると考えられる。そのため、データベースをバックエンドに導入し、データを連携させることが必要であると考えられる。また、シンプルなUIをバリデーション表示と組み合わせて使用することや、列を減らした最低限の表示をすることで、見やすく利便性の高いシステムを構築することも必要であると考えられる。

# ソフトウェアの概要（機能一覧）

以下に機能の一覧を示す

1. 生徒の名前と番号を登録する
2. 教科と先生の名前、前期後期を登録する
3. 日々の出欠席登録
4. データの編集
5. それぞれの生徒のデータ分析と集計

# ソフトウェアの全体の機能構成（機能の説明、流れのフローチャート）